



日本共産党区議会議員

みやざき かつとし 克俊 ニュー入

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

2007年12月16日 No.598



# 海外調査 今年度の実施 あきらめた

## 自民・公明・民主が来年度の予算要求



少子化対策を主目的に実施された05年の海外調査団の議員ら。ところが、議会に「子育て支援特別委員会」を設置して議論することを拒否した…。

海外調査を提案していた自民党と民主党が、今年度の実施を中止に追い込まれました。自民・民主は区議選前から海外調査を提案してきましたが、結局、他党も同調しなかったため、あきらめました。日本共産党は、海外調査の必要性はないとして実施に反対していました。

自民党が提案していた海外調査は、①介護保険制度対策として「理想の高齢者対策像」の調査と銘打ったスウェーデン、ストックホルム。②障害者対策として「理想のコミュニティ像」についての調査としてスイス・ベルン州。そして、③友好、交流として友好都市のスイス・ジュネーブ市の3都市を訪問するというもの。一方、民主党は具体的な訪問先の都市名はなく、①介護対策、②環境対策の2点での提案でした。

自民案にも民主案にも、その都市の経験が品川にどう必要なのか説明がありません。品川区政との関係で海外調査の意義が不明確では実施する必要性が問われます。日本共産党は、提案になっていないと批判、実施に反対しました。

## 海外調査の必要性 説明ない自民・民主案

品川区議会の海外調査は、ひとり70万円もの予算。それだけに海外調査の必要性が区民に理解されなければなりません。

ところが、自民・民主の提案

には、品川区のどういう問題を解決するために、訪問する都市のどんな経験を学ぶ必要があるのか。書籍やインターネットなどによる情報収集だけでなく、なぜ、直接訪問する必要があるのか説明はありません。これでは中止が当然です。

そもそも  
ひとり70万も予算をかける  
海外調査は必要ですか？

今年度の実施をあきらめた海外調査。ところが、自民党と公明党、民主党が一致して来年度の予算に海外調査の予算を盛り込むよう区長に要求しました。ちなみに今年度の海外調査の予算は740万円(ひとり70万円)。そもそも、海外調査は必要なのでしょうか。

## 必要性の議論より、 「海外調査先にあり」

来年度予算に海外調査の予算を区長に要求することを決めた際、自民・公明・民主は、緊急で海外調査を実施する場合もあり得るので、あらかじめ予算を組

んでおく——と主張しました。品川区議会は「申し合わせ」で、海外調査は実施決定後に区長に予算を要求することになっています。が、完全に無視されています。これは海外調査の決め方も同じです。実際の「流れ」は、①11月～12月に、翌年度予算に海外

税金のムダづかいは許さない!



調査の予算を盛り込むよう区長に要求、②新年度になって海外調査の実施と大まかなテーマを決定、③仮の調査団を組んで、行き先など調査の詳細を確認、④議会で正式決定後、12月ころ実施——です。まさに、「海外調査先にあり」です。

しかも、調査先は旅行会社から提案してもらいます。

## 少子化対策は、海外 調査の「口実」……?

05年12月に実施した海外調査は少子化対策を目的に自民・民主が実施。調査団は調査の成果を議会で議論する必要性を強調していました。

ところが、翌年の議運で日本共産党が「子育て支援特別委員会」の設置を提案した際、自民党は「少子化対策は国の仕事だ」

お困りのときは  
お気軽に  
ご相談ください

無料法律相談は12月14日(金)

2008年1月18日(金)

日本共産党みやざき克俊事務所  
品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674



と反対。公明・民主とともに提案を否決しました。「少子化対策」は単なる外国旅行の口実だったのでしょうか。

今回、自民・民主が海外調査を断念した背景に、海外調査中止を訴えた日本共産党安藤たい作候補が当選した昨年の区議補選と、自民、民主が複数の現職議員を落選させた4月の区議選結果があります。世論の力で海外調査を中止させましょう。